１　パラオでは 9 月 20 日現在、人口の 90%がワクチン完全接種を終えた。また、18 歳以上に対する 3 回目のワクチン接種も 260 人が受けている。
原文
（21st September 2021, Island Times）

２　中国は、台湾が国連や WHO において対等なパートナーとして関与することに継続して反対しているが、太平洋に残る台湾の外交同盟国 4 か国（※ナウル、マーシャル諸島、パラオ及びツバル）は、それをやめる時が来たと述べている。ナウル、マーシャル諸島及びパラオは、国連総会の演説で、スピーチのかなりの部分をさき、これらの国は、台湾の支援によって COVID-19 がほとんど発生していない状態を維持することができており、台湾の人々が他の国々と同じ権利を享受できるようにするよう国連に要請した。
　また、ミクロネシアの指導者らは、COVID-19 からの回復だけでなく、気候変動の緩和のための緊急の行動を確実にするための世界的な協力を求めた。
原文
（24th September 2021, Radio NZ）

３　マーシャル諸島のデイビッド・カブア大統領は、国連総会の演説で、太平洋地域は「世界最大の大国」同士の主導権争いの真っ只中にあるとして、世界の指導者らに対して太平洋の地政学的緊張について推移を見守るよう促した。また、タブーを避けつつ、マーシャル諸島は常に独立した民主主義を維持し、市民の基本的人権を保護するよう努めてきたとし、「島のリーダーとして、自由で開かれたインド太平洋へのコミットメントを堅持し続け、簡単な誘いと引き換えに我々の本質的価値を差し出させようとするいかなる者とも一線を画する」と述べた。
原文
（24th September 2021, Radio NZ）

【アントニオ・グレーテス国連事務総長の PIF との会議での発言】
４　国連のアントニオ・グレーテス事務総長は、太平洋諸島フォーラム（PIF）のリーダー達（※ヘンリー・プナ事務局長ほか）とのオンライン会談で、気候変動、COVID-19、経済再建と債務返済問題、フードシステムサミットなどについて言及。
原文
（24th September 2021, PACNEWS）